

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援/放課後等デイサービス Olinace八千代第2		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 5日 2025年 1月 27日	～	2024年 11月 30日 2025年 2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 31名 32名	(回答者数)	26名 24名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 27日	～	2025年 2月 8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	(回答者数)	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	脳科学理論をもとにした運動療育	<p>《「動」と「静」のセットでメリハリを意識》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「動」と「静」の組み合わせで脳と体が成長し集中力を身に付けます。脳と体は相互関係にあります。体を動かすと脳（前頭前野）が活性化し、集中するために必要な脳の領域が元気になる。「動」と「静」の活動を交互に繰り返すことにより、興奮を瞬時に抑制する力が高まります。動と静のメリハリで、より強い抑制力を育てるため、結果的に集中する力が身に付きやすくなります。 <p>《数分ごとにあそびを変えて脳を刺激する》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳の様々な力を切り替えながら行うことで、楽しく能力を育てることが出来ます。また、子どもも飽きずに続けられるため、集中力も鍛えられます。 <p>《ストーリーやイメージと運動がセットになっている》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハイハイをするだけでも「犬さんみたいに歩こう」など、イメージさせて体を動かすことで想像力を鍛えます。 	定期的な運動研修の実施やアレンジした運動プログラムの共有
2	保護者面談 面談終了後には職員全員に共有し、支援方法を検討している	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や連絡帳などでお子さまの困りごとやご相談を頂きましたら、すぐに時間調整をして面談をさせて頂きます。 ・送迎時にお子さまの様子を保護者さまにお伝えして、送迎終了後には、必ず職員間で共有しています。 ・休みの職員やパートさんには、連絡ノートでその日のできごとを共有しています。 	毎朝、職員会議を開いて支援方法を検討する時間を設けている
3	公園遊びや調理実習のイベント	<ul style="list-style-type: none"> ・公園遊びでは、職員間で話し合い計画を立てて実施している。 ・自作の玩具で遊ぶ体験をしている。 ・調理実習のイベントでは、子どもたち1人1人に“自分の力でできる作業”を担当してもらい、みんなで協力して作ったものを頂く。放課後等デイサービスのお子さまはもちろん、児童発達支援のお子さまも楽しく参加できるよう工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワクワクするイベントを子どもたちと楽しむためにはどうすればよいかを職員間で話し合っている。 ・子どもたちにもイベントの企画に参加してもらおう等、新たな取り組みも検討している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会等の開催	個々に保護者面談は行ってきたが、集団での保護者会などへの参加希望を募ってこなかった。	アンケートを実施。結果を踏まえて、平日の午前中に保護者さま向けの茶話会や講師を招いての物づくり体験を計画予定。
2	家族や兄弟向けのイベントの開催	コロナ感染予防などがあり、今まで開催してこなかった。	夏休みの長期休みに、近くの八千代教室と共に体育館を借りての運動イベントを計画予定。
3			